

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年3月19日(2024.3.19)

【公開番号】特開2022-135397(P2022-135397A)

【公開日】令和4年9月15日(2022.9.15)

【年通号数】公開公報(特許)2022-171

【出願番号】特願2021-35177(P2021-35177)

【国際特許分類】

C 09 J 201/00(2006.01)

10

C 09 J 191/06(2006.01)

B 31 B 70/64(2017.01)

【F I】

C 09 J 201/00

C 09 J 191/06

B 31 B 70/64

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月11日(2024.3.11)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

T_m - T_cを制御する手段は特に限定されないが、例えばホットメルト接着剤に熱可塑性樹脂と結晶性材料を含有させ、それらの相溶性を高めることが挙げられる。なお、結晶性材料とは、材料単体で示差走査熱量測定を行った際に明確な発熱ピーク又は吸熱ピーク(好ましくは発熱ピーク及び吸熱ピーク)が観測される材料のことを指す。その際の測定条件は以下の通りである。10 / minで20から200まで昇温させ、次に10 / minで200から20まで降温し、更に10 / minで20から200まで昇温させる。このいずれかの工程で結晶化に基づく発熱ピーク及び融解に伴う吸熱ピークのいずれか一方(好ましくは両方)が観測された材料を結晶性材料と定義する。

30

40

50